

中国慰安会バスツアー(2014. 9. 26-28)

2日目(9月27日に登った三清山(2008年世界遺産)の写真 三清山:標高約1,820m)

2014. 10. 14作成



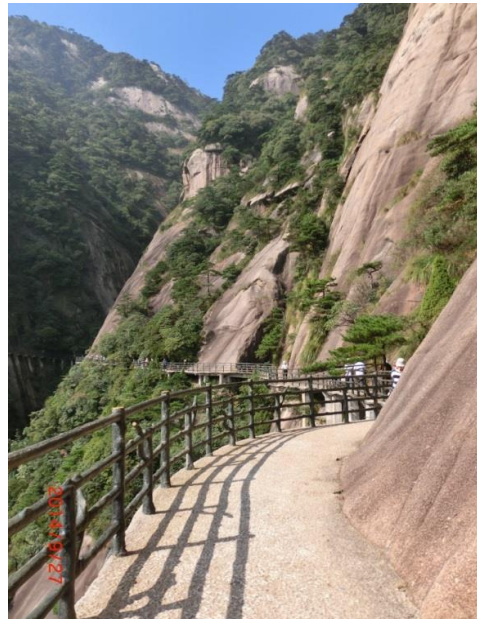
標高1,200m迄のケーブルカー



登山索道(支柱方式)と落下防護手すり(手前)



登山索道(岩肌を削って道を横杭で支えている)



索道全てに落下防止の手すりがある。  
高所に苦手な私は手すりに近寄れない



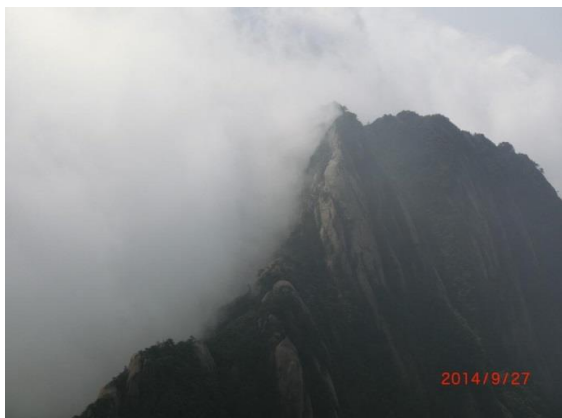
標高1,600m位?、奇岩



左同じ



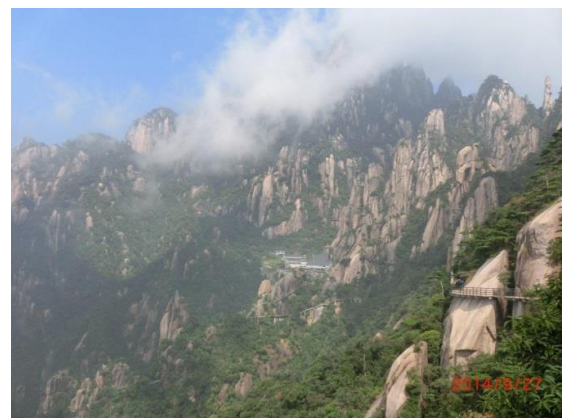
箇所もあった。)



霧が発生



霧で遠景がかすみ水墨画風になる



中央見える白っぽい建物はホテルで、ここで昼食を食べた。山頂近くである



駕籠かきと駕籠

黄山にもあったが今回は利用している場面には遭遇せず。  
ケーブルカーの乗り場から登山索道を一周し、元のケーブルカー乗り場までの料金は1,000RMBである。今の交換レートでは約1万7千円で安くはない(2人の駕籠かき分ではあるが)。  
私の脚で約5時間の工程である。



粃の路上干し

稲刈りの終わった頃に粃の路上干しが各所で見られた。中国の地方ではこのように道路を私用に利用する事はよくあるようで、我々が乗った大型観光バスが大きなカーブや大型対向車とのすれ違う時は、この粃の上を車輪が通り過ぎることもある。当然米粒は割れてしまう。  
観光地の昼食で時々米粒が大小ある不揃いなご飯に出くわすが、あまり気にしないということか？



